

2025

2月2日

区政の選択



きむら まさあき

# 木村 正明

「しっかり発言・なんども提案・きちんと報告」  
つらぬいて9期34年

# Change

# こんどは区政でも 金権政治に審判を

2019～2023年の4年間、日本共産党区議団は学校給食無償化条例など6件の条例案を提案しました。しかし2023年の区議選で日本共産党は3名から1名に後退、議案提案権も失いました。それからの1年8カ月余、区議会からの条例提案は1件もありません。

2月の区議補選は、官製談合での自民党議員の逮捕・辞職に伴うものです。この事件は、自民党の金権腐敗体質が区政にも広がっていたことを示しました。

日本共産党の前進は、区民の声を区政にとどけるパイプを太くするとともに、自民党政治に対する痛烈な審判になることは間違いありません。

どうか、ふたたび区政に押し上げてください。

## 前・千代田区議会議員 日本共産党

プロフィール

1955年 宇都宮市生まれ。中央大学で学ぶ。

1989年 千代田区議会議員補欠選挙で当選。以来 2023年まで9期勤める。

現在、日比谷公園の自然と歴史を考える会代表、日本共産党千代田地区委員会副委員長、マンション管理士。趣味はジョギング、太極拳、野球観戦。二番町在住。

# 区民のみなさんの声を届け続け 条例提案 17本

## みなさんとともに ねばり強く 区政を動かしてきた“日本共産党”

### 千代田区に特養ホーム

1989年に初質問で特養ホーム建設を求め、「つくる会」のみなさんと一緒に署名運動にとりくみ、95年に「いきいきプラザ一番町」がオープンしました。

### 子ども医療費の無料化

日本共産党区議団は1970年代から無料化を提案し、92年に木村正明が議会で提案した翌年、3歳までの医療が無料に。子育て世代の署名運動と結んでねばり強く条例提案と質問を繰り返し、2011年、東京23区で初めて18歳までの無料化を実現しました（表を参照）。

### 学校給食の充実・無償化

23区で千代田区立中学校5校中3校だけが給食未実施の頃から「給食は教育の一環」だと実現を求め、2002年に実現。無償化もいち早く求め、条例も提案し、ついに実現しました。

### 区営住宅増設、家賃補助、マンション管理組合の支援、中小ビルオーナーの支援などを求めました。



区議会本会議で国民健康保険料の負担軽減を求める木村正明氏  
(2019年6月19日)

子ども医療費無料化の前進

1992年	共産党区議団が区議会で賛同
1993年	3歳までの無料化が実現
1995年	就学前まで無料化
2007年	中学3年まで無料化
2011年	18歳まで無料化



「健康保険証はどうなるの？」  
区民の不安に耳を傾ける木村正明氏

期待の声

30年前の学校統廃合の時は、共に闘い神田公園、九段中等学校の現在があります。

神田警察通り街路樹伐採問題では緑の下で和解にむけ尽力してくれました。道理を貫けば無理が引っ込む。千代田区政に欠かしてはいけない人です。

元中学校PTA会長・前町会長  
藤田光春さん

推薦します



参議院議員  
吉良よし子



区議会議員  
牛尾こうじろう

# 日本共産党の議員が必要な3つの理由

2025  
2月2日  
区政の選択



## 1. 暮らしを守る一番の力

物価高騰から区民の暮らしを守ることは区政の中心課題。それなのに、なかでも負担の重い国民健康保険料の引き上げに、2024年3月の区議会でも反対したのは、牛尾こうじろう議員（共産）たった一人。暮らしを守る立場に立つ議員が少なすぎます。日本共産党に力を与えてください。

- ▶ 国保料を引き下げます
- ▶ 介護保険料の負担軽減をはかり、介護事業者の支援を強めます
- ▶ 物価高で苦しむ零細事業者を支援します

区政に力を入れてほしい施策  
(福祉分野)

国民健康保険料の負担軽減 41.5%

介護保険料・利用料の負担軽減 27.7%

後期高齢者医療保険料の負担軽減 26.9%

※区議会日本共産党のアンケートから・複数回答可

上位3項目

## 2. 「住民が主人公」のまちづくりへの推進力

国・都・区が一体ですすめた「都市再生」は、まちの様相を激変させました。100m 超の高層ビルは 110 棟を超える一方、区民が住み続けることはますます困難に。子どもたちのあそび場空間も奪われました。日本共産党は、「遊び場条例」改正案を2度提案。「住まいは人権」の立場で頑張ってきました。「住民が主人公」のまちづくりの推進力です。

千代田区にだけない  
キャッチボール広場

自治体名	公園数
千代田区	0
港区	11
中央区	6
新宿区	12
文京区	10
台東区	7



木村正明氏は台東区のボール投げができる公園を訪れ、利用者にお話を伺いました

- ▶ 中高生もキャッチボールやトスバッティングなどができる広場をつくります
- ▶ まちづくりの基本構想作成段階から情報公開と住民参加をすすめるルールをつくります
- ▶ 家賃補助を拡充し、公共住宅をふやします

## 3. 透明で公正な区政をつくる確かな力

官製談合など議員が区に不当な要求をしないルールが必要です。議員の質を保証し、住民が議員をチェックする「政治倫理条例」を議会で提案・実現できるよう、日本共産党を伸ばしてください。

- ▶ 政治倫理条例をつくります
- ▶ 入札制度を改善します
- ▶ 公益通報制度を改善し通報者保護を強めます

不正入札事件をなくするため  
何が必要か

入札制度の改善 47.5%

公益通報（内部告発）制度の改善 40.0%

区議や特別職対象の「政治倫理条例」制定 32.5%

※区議会日本共産党のアンケートから・複数回答可

上位3項目

木村正明

きむら まさあき

## 都心から平和の発信を



「戦争させない千代田の会」の宣伝で訴える  
木村正明氏（2024年11月12日）

被爆者の立場から核兵器廃絶を訴えてきた日本被団協＝日本原水爆被害者団体協議会が、2024年のノーベル平和賞を受賞しました。

ところが日本政府は核兵器禁止条約に背を向け、軍事予算2倍化、軍拡増税、敵基地攻撃能力保有など「戦争する国」づくりを進めています。

憲法を活かし平和をつくろう — この声を今こそ都心から発信しましょう。

日本共産党は、他会派議員、女性団体、労働組合、平和団体や区民のみなさんと「戦争させない千代田の会」をつくって毎月行動を96回（2024年11月現在）積み重ねてきた一員として頑張ります。

Change

ご連絡・ご要望は

TEL 03-3294-8411

m.kimura@hb.tp1.jp

ホームページ 公式



千代田区民新聞

2024年12月・2025年1月号外 木村正明さんの活動を紹介します。  
発行 / 千代田区民新聞社 千代田区神田須田町1-30-1-101 電話 03-3295-6785